

国際地域研究所

Institute of International Relations and Area Studies



国際関係学と地域研究の対話と協働を通じて 21世紀の難題に挑み、グローバル社会に発信する

国際地域研究所は、1989年の設立当初から、国際関係学と地域研究の両分野において、研究活動をリードすることで、国内外の学術コミュニティに貢献しようと努めてきました。今から見れば、それは先駆的でチャレンジングなビジョンであったと思います。というのも、国際関係学と地域研究は、それぞれ問題関心や焦点が大きく異なるからです。

国際関係学は、国家と国家の間の問題を取り扱おうとするものです。その焦点は、戦争と平和、国際経済、地球環境問題等、一国では解決することが難しい問題にあります。そうした問題に、いかに取り組むのかを考察することが、課題となってきました。

一方、地域研究は、特定の地域に住んでいる人たちの生き様や社会に焦点を当てるが多く、そこに存在する「固有性」を「発見」することに注力しがちです。それゆえ、国境を越える問題や、国家を超える普遍性や共通性といった議論には、あまり関心を示さない傾向があります。国際関係学と、地域研究は、学会内や、教育機関内では一見共存しているようでありながら、お互いの協働や交流、あるいは対話さえも実際にはあまりなかったのが実情でした。

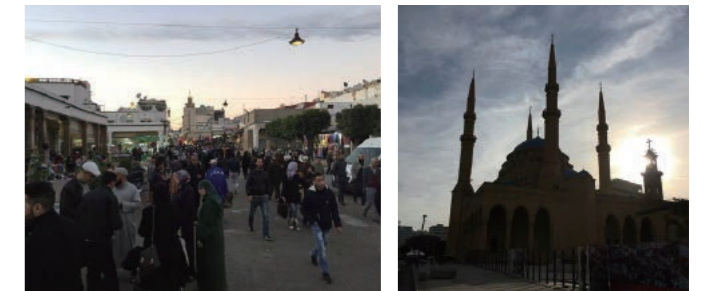
しかし、グローバル化がますます加速する中で、この両者の対話や協働の必要性が、これまでにならぬほど高まっています。例えば、テロや難民といった問題は国境を越えるグローバルな

問題であり、まさに国際関係学の課題です。ただし、国際的な観点から考え出されたテロや難民問題への対策が、個々の国や地域でうまく機能するとは限りません。かえって、状況を悪化させることすらあります。各地のローカルな実態を理解する地域研究の知見を踏まえて、それぞれの地域の実情に合った対策へと修正していく作業が不可欠となります。

また、特定地域の殻に閉じこもってテロ対策や難民問題への対応を行っていても、問題解決は容易ではありません。国境を越えた協調を行ったり、少なくともそうした国際的な対策を踏まえて地域レベルの対策を検討したりしなければ、効果的な対応を行うことは困難なのです。あらゆる問題がグローバルな影響を避けられないようになる中、もはや特定地域の問題も、グローバルな影響を無視することはできなくなってきました。

国際地域研究所は、国際関係学と地域研究の対話の重要性を、いち早く認識し設立されました。私は、これまでの国際地

域研究所での地道な対話の積み重ねによる財産を生かしつつ、これからは国際関係学と地域研究の対話、さらには両者の協働を一層深化させていきたいと考えています。そうすることによって、21世紀の様々な難題に、いかに取り組むべきかを考察し、そしてその成果を広く社会に発信すること、それが国際地域研究所の使命だと考えています。



■ 研究プロジェクト・研究会 (2023年現在)

「研究所重点プロジェクト」

紛争・平和構築研究 (4 ユニット)

北東アジア紛争と平和構築

東南アジア紛争と平和構築

中央アジア紛争と平和構築

中東紛争と平和構築

拡大する中国の影響力と国際秩序 (3 ユニット)

中国経済産業構造研究

中国外交研究

中国市場ビジネス研究

「研究会」

中国法・アジア法研究会

平和主義研究会

日米中政治経済研究会

実験政治研究会

アフリカプロジェクト研究会

■ シンポジウム・講演会 開催例 (2022年度)

The Siberian Internment of the Japanese Army and the Transnational History of the Making of Postwar East Asia 1945-1956

[Africa: Crossroad (Scramble) of (Re)Emerging Forces - Webinar Series 9]

土曜講座「ミンダナオ和平とCOVID-19：人間の安全保障のエンパワメントの視点から」

土曜講座「フィリピン麻薬戦争に隠れた人権侵害—なぜ『左派』は超法規的に暗殺されるのか」

Drinking Water in Southwest Coast of Bangladesh: Special Focus on Field Survey and Its Outcomes

第73回日米中政治経済研究会

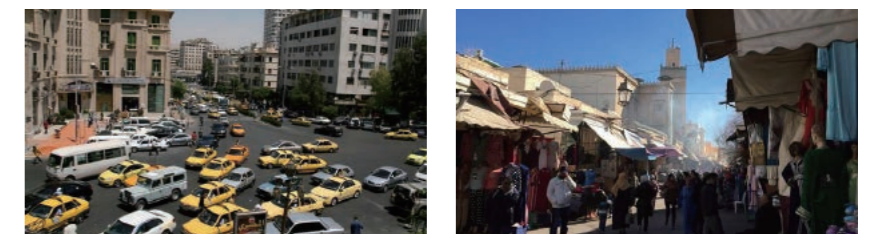
Strategic Use of 'Human Security'?:
Why Did Abe Refer to 'Human Security' so often?

THE COLD WAR AND THE OCCUPATION OF JAPAN

平和主義研究会「いま兵役拒否を考える」

日米中政治経済研究会

ウクライナ 座談会



主な研究テーマ

- 政治変動と紛争
- 安全保障と平和構築

- グローバル化時代の地域統合
- 東アジア諸国の政治経済



研究所長：足立 研幾 (国際関係学部 教授)

主な研究拠点：衣笠キャンパス

お問い合わせ：立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内 国際地域研究所事務局

TEL: 075-465-8306 FAX: 075-465-8245 ✉: kokuchi@st.ritsumei.ac.jp <http://www.ritsumei.ac.jp/research/iiras/>